

「ようこそくまもと観光立県推進計画（２０２４年度－２０２７年度）」の概要

基本目標

日常を忘れるひととき、心弾む“感動県くまもと”
～地域が輝く、活力に満ちた観光地域づくり～

数値目標

観光消費額

基準値(2019)

3,220億円

目標値(2027)

3,750億円

※今後、国の方針の変更や最新実績の確定等により、目標値等の見直しを行う場合があります。

計画の位置付け

○ようこそくまもと観光立県条例に基づく、観光立県の実現に関する施策を推進するための基本計画

○県政における最上位の方針である「くまもと新時代共創基本方針」及びその実現を図るための目標と具体的施策をとりまとめた「くまもと新時代共創総合戦略」に位置付けられる観光振興に関する取組みを具体化したもの

観光を取り巻く現状と課題

○人口減少と少子高齢化の進展

- ・経済規模の縮小、人手不足の深刻化
→リピーターの獲得による観光客数の安定的な確保、観光消費額の拡大

○旅行形態や価値観の変容

- ・個人旅行の比率の急上昇、新たなスポットの観光地化
→環境の変化に対応できる体制づくり

○訪日外国人旅行者の急激な回復

- ・T S M Cの進出に加え、熊本空港国際線の増便、クルーズ船寄港の回復
→インバウンド需要獲得への対応

○デジタル化、D Xの浸透

- ・消費行動の変化、I T・デジタル化への対応の遅れ
→デジタル化・D Xの推進による観光産業・観光関連団体の業務効率化・基盤強化、旅行者の利便性向上

○持続可能な観光に対する意識の高まり

- ・世界的な「持続可能な観光」への関心の高まり
→地域や環境と調和した観光地域づくり

推進体制

○県と観光連盟、DMO、観光協会等との役割分担、機能強化

○国や九州観光機構、市町村及び他県との連携

計画の体系

3つの基本方針

- ① 観光と熊本の強みを掛け合わせた“くまもとらしさ”の探求
- ・国内外に誇れる熊本の地域資源や産業と観光を掛け合わせ、観光ブランド「くまもと」の確立を推進します。
 - ・熊本が国内外から選ばれ、さらに選ばれ続ける観光地となることを目指します。

- ② 上質な“トキ”と機会の創出
- ・“今”、“ここ（熊本）”でしか体験できない「トキ消費」を意識した観光地域づくりを目指します。
 - ・観光の上質化・高付加価値化に取り組み、訪れた人の満足度を高め、リピーターの獲得や観光消費を促進します。

- ③ 観光産業を柱とした創造的復興の実現
- ・度重なる災害とコロナ禍で疲弊した観光産業の再生を支援します。
 - ・コロナ禍で顕在化した多様な価値観等に対応できる足腰の強い観光地域づくりを目指します。
 - ・観光産業の成長が地域経済の活性化につながり、観光産業に携わる人が生き生きと輝き、ホスピタリティ精神溢れる観光地域づくりを目指します。

4つの戦略

I 観光資源・コンテンツの魅力向上

- 1 「観光×熊本の強み」で、“くまもとならでは（又はオリジナル）”の特別な体験の提供
- 2 全国に名だたる温泉県としてのブランド確立
- 3 周遊及び滞在の促進
- 4 知的好奇心を満たす教育旅行の誘致拡大
- 5 付加価値の高い商品の開発
- 6 スポーツを通じた地域活性化と交流人口拡大を図るスポーツツーリズムの推進
- 7 コンテンツツーリズムの推進

II 戦略的なプロモーション

- 1 ターゲットに届く効果的な情報発信
- 2 地域と連携したクルーズ船誘致
- 3 経済波及効果を高めるM I C E誘致の推進
- 4 観光需要・消費喚起につながる効果的な観光情報・E Cポータルサイトの活用
- 5 復興を加速化する被災地域への誘客促進
- 6 広域連携による訴求力が高いプロモーション

III 受入環境整備

- 1 多様な旅行者を受け入れられる環境の整備
- 2 観光地への移動が楽になるアクセスの充実
- 3 地域住民と観光客の双方に配慮した満足度の高い観光地域づくり

IV 観光産業基盤強化・活性化

- 1 持続可能な観光地域づくりを支える人材育成・確保
- 2 観光の未来を切り拓く観光産業起業家支援
- 3 生産性向上やマーケティングにつながるD X導入

持続可能な観光地域づくりの推進 ・ 観光D Xの推進